

2020.4.10

畑 啓之

宿主の読み方は 口語では「やどぬし」、学術用語としては「しゅくしゅ」??

最近、「やどぬし」との言葉をよく耳にする。身近な人と話しても「やどぬし」である。この言葉は、マスコミで多く使われ、それがお茶の間に浸透し、そして日常化していったものと思われる。

最近でこそこの言葉に慣れたが、最初に聞いたときにはビックリし、そのご複数回聞いたときには違和感を覚え、そして最近では「やどぬし」と聞いても気にしないでおこうとの自制心がうまれた。

三省堂 大辞林 第三版 [索引トップ](#) [用語の索引](#) [ランキング](#) [凡例](#) **三省堂**

しゅくしゅ [0]【宿主】

ウイルスを含めてすべての寄生生物が寄生する相手の生物。寄生動物の幼生と成体とで宿主が異なる場合、幼生の宿主を中間宿主、成体の宿主を終宿主という。寄主。やどぬし。

やどぬし [2]【宿主】

- ① 宿の主人。
- ② 家の主人。世帯主。
- ③ 「しゅくしゅ(宿主)」に同じ。

宿主を Wikipedia で見てみると次のようになっている。読みは「しゅくしゅ」である。学術用語としては「しゅくしゅ」、人と話すときには「やどぬし」としなければならないということか? このような例は他にはないのではないだろう。この Wikipedia に従うと、私も会話の中では@やどぬし」と言わなければならないことになるが、勉学時代から「しゅくしゅ」に慣れきっているので、何か変な気持ちである。

宿主 (Wikipedia) 英語ではすっきりと host

宿主 (しゅくしゅ、英語: host) あるいは寄主 (きしゅ) とは、寄生虫や菌類等が寄生、又は共生する相手の生物。口語では「やどぬし」と訓読されるが、学術用語としては「しゅくしゅ」読みが正式である。

Host (biology) From Wikipedia, the free encyclopedia

In biology and medicine, a host is an organism that harbours a parasitic, a mutualistic, or a commensalist guest (symbiont), the guest typically being provided with nourishment and shelter.

(生物学や医学では、宿主とは寄生、互生、共生のゲスト (共生体) を宿主とする生物のことで、ゲストには通常、栄養とシェルターが与えられます。)